

熱帯作物学特論 (2単位)

担当者氏名 志和地弘信・入江憲治

◆学習・教育目標

熱帯地域における作物の生産性の向上を目的に、生産を行う上で生じる様々な課題を解決・解明するために必要な学問領域（栽培学、植物生理学、育種学など）の研究成果や動向について学び、研究や実践に応用できる知識と思考力を身につけることを目的とする。さらに研究テーマに関連する作物について、これまでの研究成果を体系的にレビューしてまとめる能力を養う。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

作物学	栽培学	植物生理学	育種学
遺伝資源	イネ科作物	イモ類	持続的作物生産

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	熱帯地域の作物生産の課題	熱帯地域における作物生産の課題と現状について理解する。	熱帯作物学に関連する研究分野の基礎理論を復習し、最新の研究動向についてレビューを行っておく。
2	熱帯作物学研究と研究機関のネットワーク	熱帯作物研究の動向について理解する。	
3	イネ科作物研究 1	イネ科作物研究 1~4 は、イネ、コムギ、トウモロコシなどの作物について、熱帯地域の作物生産で重要な研究について理解する。	
4	イネ科作物研究 2		
5	イネ科作物研究 3		
6	イネ科作物研究 4		
7	イネ科作物研究 5		
8	イモ類の研究 1	イモ類研究 1~4 は、ヤムイモ、サツマイモなどのイモ類について、熱帯地域の作物生産で重要な研究について理解する。	
9	イモ類の研究 2		
10	イモ類の研究 3		
11	イモ類の研究 4		
12	研究対象作物のレビュー1	研究対象作物 1~3 は、自身の研究テーマに関連する作物についてレビューを行い、修士論文の序論を執筆する。	
13	研究対象作物のレビュー2		
14	研究対象作物のレビュー3		
15	まとめと評価		

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

Tropical Root and Tuber Crops (Lebot, 2009)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

随時指示する

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト）

口頭試問による理解度（50%）およびレポート（50%）

◆その他受講上の注意事項

担当者志和地のオフィスアワーは月曜日 8 時半より 10 時半である。事前にメールでの打ち合わせを歓迎する。